

追悼、心ひとつに復興へ 熊本地震災害犠牲者南阿蘇村追悼式



昨年4月14日、16日に発生した熊本地震から1年を迎えた4月16日(日)、犠牲者を追悼した「熊本地震災害犠牲者南阿蘇村追悼式」が、長陽体育館で行われ、犠牲者の遺族や、国会議員、村民、村関係者など約300人が参列しました。

式では、正午に村内全域に流れた防災無線のサイレンと共に一斉に黙祷が捧げられ、村内での犠牲者27人の名簿の奉呈を浅尾鎮也総務課長が行いました。

吉良村長が「犠牲になった方々、被災された方々の思いを心に刻み、ふるさと『南阿蘇村』を必ず復興し、次の世代にしっかりと引き継いでいくため、村民の皆さまと心を一つにして、まい進することを固く誓います」と復興への誓いを述べました。その後、犠牲者の冥福を祈り、参列者一人一人が献花を行い、涙を流す遺族の姿もありました。

そのほか、片山信夫さん、利栄子さん夫婦が犠牲となった新所区で、地元住民の皆さんによる一周忌法要、学生3人が犠牲となった東海大学阿蘇キャンパスでは、大学関係者、学生たちによる「熊本地震慰霊式」もそれぞれ行われ、この日は、村全体で犠牲者への追悼の祈りと復興への新たな誓いに包まれました。



新所区で犠牲者の一周忌法要が行われました。



- ① 犠牲者への黙祷を捧げる参列者
- ② 浅尾総務課長による犠牲者名簿奉呈
- ③ 参列者全員での献花



The Day Project Meeting in 南阿蘇 vol.1

村内90の事業者が参加し、実施主体となる「南阿蘇村観光復興プロジェクト交流協議会」が、熊本地震から1年となった4月16日、南阿蘇中学校体育館で、「The Day Project Meeting in 南阿蘇 vol.1」を開催し、約1,300人の来場者で会場は溢れました。村内外で活躍するアーティストによる「大自然からの伝言」と題した映像上映など、集まった人たちが同じ時間を分かち合い、心を寄せ合ったイベントになりました。



- ① 南阿蘇中学校、高森高校、高森中学校吹奏楽部による演奏
- ② 花のアーートを手がける「ミレイヒロキ」の花の模様のテント
- ③ 伊藤花りんさんによるサンドアート

